

現代に残る江戸時代の祈りのかたち

## 特別展「北海道の絵馬～東蝦夷地編～」

人々の暮らしや足跡を探るための文化財。しかし博物館などに収蔵されているとも限らず、その存在を知られにくい資料といたら、皆さんは何を思い浮かべるでしょう。江戸時代に蝦夷地へ往来していた人たちは、各地に祠やお堂を設け、商売の繁盛や武運の長久もしくは地域コミュニティの安全を祈っていました。そうして奉納された資料もまた、私たちに貴重な知識をもたらし、蝦夷地を舞台に繰り広げられた暮らしの解明に導いてくれます。

陣屋資料館では夏の特別展として、江戸時代に奉納された絵馬やお守りを集めた展示会を計画しています。かつて東蝦夷地と呼ばれた太平洋岸の自治体や神社に残る資料を借り受け、信仰の痕跡から当時の様子を探ることが狙いです。白老町の文化財である白老八幡神社の絵馬も公開するほか、社台地区の稲荷神社にしまわれている明治初期の奉納品もご紹介します。

会期は8月2日(土)～8月31日(日)まで。次回のかから版では、期間中のイベントについてもお知らせします。どうぞ併せてお楽しみください。

# 仙台陣屋 かわら版

第109号

(平成26年7月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

絵馬づくり体験のお知らせ

折り紙と絵具で絵馬をつくる体験会です。資料館30周年のシールも貼って、自分だけの絵馬を飾りましょう。

誰でも参加できますが、小学生の場合は高校生以上の同伴者がいることが条件となります。

日	8月2日(土)	16時30分～18時00分
場	仙台藩白老元陣屋資料館	
予	先着30名まで	
参加	かかりません(町民は入館も無料です)	
費		
申し込	0144-85-2666	



〈七福神と短歌が書かれた絵馬(上)と、仙台藩士が奉納した翁の絵馬(下)〉

## 黒獅子記念の展示会は大成功！ ご協力ありがとうございました

4月から開催していた「北の若き獅子たち～大昭和製紙北海道の躍動編～」は、町内外を併せて2,000名を超える来場者があり、大盛況で幕を閉じました。この期間の来場者数としては、近年になかった数字を記録しています。思い出の品を今日まで残しておき、快く貸与・寄贈して下さいました皆さまのおかげで、白老が誇る栄光の歴史を多くの方に見てもらうことができました。

展示会に対する感想の中には、「若いときのパパとママが見れた！ママすごく若くてかわかった」といったコメントもありました。過去の掘り起しだけでなく、新たな家族の思い出も作ることができたようです。第2弾となる「白老の野球文化展」も計画中ですので、どうぞご期待ください。

大人気の観察会を、今年も陣屋跡で行います。仙台藩士のいた頃から生息しているホタルを眺めて、短い白老の夏を満喫しましょう。

## 夏の陣屋でホタルを見よう

日時 8月8日(金)/9日(土)  
19時00分～20時00分  
(小雨は決行です)  
集合 仙台藩白老元陣屋資料館  
予約 不要です  
参加料 不要です  
服装 肌の露出は少なく。靴は濡れても大丈夫なものだと安心です  
注意 過度な虫よけの薬の塗布や散布は、ホタルにも害を与えます。観察場所へ向かう前に、資料館内で済ませて下さい

# 未来の学芸員が陣屋に来館

6月11日、小樽市立銭函小学校の生徒2名が、資料館へ職業体験に訪れました。当日は、あいにく土砂降りの天気でしたが、館内や史跡の見学、そして展示体験と時間を経ることに緊張もほぐれ、楽しみながら取り組んでくれたようです。

せっかくの機会なので、2人には特別に、三好監物の鎧の複製の展示にチャレンジしてもらいました。亀井学芸員が手順の説明と補助を行い、なんとか鎧は組みあがりました。もちろん飾った後には自分たちで修正点を見つけてなければなりません。

平野学芸員も、鎧だから強そうに置きたいよねと、見せ方の工夫についてアドバイス。博物館の職員がどのような事を考えながら展示を行っているかも、具体的に学んでもらいました。



<協力して展示した三好監物の鎧(左)>



記念に自分たちも武者になりました(右)>

「仙台陣屋かわら版 109号(平成26年7月号)」

発行日:平成26年6月21日(土)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・亀井

<http://www.town.shiraai.hokkaido.jp/bunkai/jinya/>

Mail: [jinya@town.shiraai.jp](mailto:jinya@town.shiraai.jp) TEL:011-2100000